



SSH レターズ

長崎県立大村高等学校

～自ら気づき、考え、行動する～

1 巻/7 号 2018/10/24

11 月の SSH 事業のお知らせ

・連携講座（第 1 学年）

期日 11 月 15 日（木）

場所 本校各教室

内容 11 名の大学・研究機関の講師による探究講座

・科学英語プレゼン研修（数理探究科 2 年）

期日 11 月 16 日（金）

場所 本校会議室

内容 4 名の外国人講師による科学英語プレゼン指導

・「科学の甲子園」長崎県代表選考会

期日 11 月 17 日（土）

場所 長崎大学

※全国大会出場をかけ、本校からは 8 名の生徒が参加し、筆記競技と実技競技に挑みます。

◆SSH 講演会（第 1 学年）

10 月 16 日（木）、琉球大学名誉教授 兼 サンレモリハビリ病院名誉院長の齊藤厚先生をお招きし、SSH 講演会を開催しました。

先生のご専門は、感染症（特にレジオネラ感染症や糞線虫症）です。講演では、医学と医療、すなわち医の学問に基づいて医療すなわち治療が行われることを、寄生虫感染症抑制までの道のりをモデルとして、豊富な経験を交えてお話しいただきました。

以下は生徒の振り返りからの抜粋です。

「知りたいことをとことん追求する真剣さが、29 年後に実を結んだのだと思いました」

「疑問を持つことや仮説を立て実証していくことの大切を知り、自分も、日頃から多くの疑問を見つけようと思いました」



写真

左：提供頂いた講演冊子

右上：講演の様子

右下：質問する生徒

◆長崎医療センター研修（数理探究科 1 年）

10 月 3 日（木）、数理探究科の 1 年生が長崎医療センターを訪問しました。当日は、「臨床検査科でのエコー実習」「救急救命や放射線治療についての講義」「ドクターヘリの見学」等に取り組みしました。

この研修を通じ、放射線やエコー技術といった科学技術が医療の発展に貢献しているということを改めて認識することができました。



◆第 1 回 SSH 運営指導委員会

10 月 5 日（金）、科学技術や学校教育に深い見識を有する学識経験者を招いて第 1 回スーパーサイエンスハイスクール運営指導委員会が開催されました。その中で、「職員の継続的な研修」や「教育機関としての評価・指導法の開発」について有益な指導・助言を頂きました。また、「主体的なテーマ設定の支援」についての協議では、「大きな研究テーマの中の一部を例示」「身近な事象・疑問を大事にする」「教員のちょっとした質問の工夫が重要」「ネットではなく自分の足で稼ぐ経験が大切」といった貴重な助言を頂きました。最後に、橋本委員長様からは、高校教育の 1 つの目的である「近代市民のリテラシー育成」を念頭においた研究開発を進めることの重要性について助言を頂きました。